

| 項目                         | 人数 | 2                    | 4 | 6 |
|----------------------------|----|----------------------|---|---|
| ア 本年度のようにすすめていけばよいと思う。     |    | ████████████████████ |   |   |
| イ 本年度は、かなり改善されたが、まだ不十分である。 |    | ██████               |   |   |
| ウ 本年度も従来同様、改善のあとがみられない。    |    |                      |   |   |

(C) 授業の表面的な事象に意見が集まり、深まりのない研修に終わりやすい。

| 項目                       | 人数 | 2                    | 4 | 6 |
|--------------------------|----|----------------------|---|---|
| ア 本年度のようにすすめれば、克服できると思う。 |    | ████████████████████ |   |   |
| イ 本年度は改善されたが、まだまだ不十分である。 |    | ██████               |   |   |
| ウ 本年度も従前どおりで改善のあとがみられない。 |    |                      |   |   |

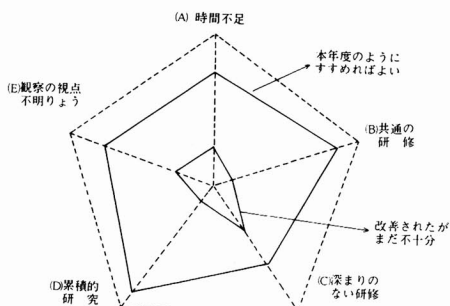
(D) 積み重ねがなく、断片的である。

| 項目                            | 人数 | 2                    | 4 | 6 |
|-------------------------------|----|----------------------|---|---|
| ア 本年度のようにすすめれば累積され、継続的な研究になる。 |    | ████████████████████ |   |   |
| イ 本年度は、改善されたがまだ不十分である。        |    | ██████               |   |   |
| ウ 本年度も従来どおりで改善のあとがみられない。      |    |                      |   |   |

(E) 研究主題との結びつきが弱く、観察の視点が明りょうでない。

| 項目                       | 人数 | 2                    | 4 | 6 |
|--------------------------|----|----------------------|---|---|
| ア 本年度のようにすすめればよい。        |    | ████████████████████ |   |   |
| イ 本年度は改善されたが、まだ不十分である。   |    | ██████               |   |   |
| ウ 本年度も従来どおりで改善のあとがみられない。 |    |                      |   |   |

調査1の結果をダイアグラムで表すと次のようになる、



考察

- 事前、事後の研究時間の不足 (A)
 

事前、事後の研究協議にそれぞれ2時間ずつあててにしていたが、第2回目の授業研究の際、日程の都合上職員会とだき合わせになり、1時間しかとれず授業記録をもとにしての研究協議が不十分であった。また、研究主題を変えたことなどから、2学期に授業研究を集中せざるを得なかった事情にもよる。
- 教科の枠を越えた共通の立場に立った研修 (B)
 

7対1と予想以上の好結果である。フィルター方式による授業分析研究をとり入れた成果である。
- 深まりない研修 (C)
 

アとイに意見がわかれた。この原因は、授業テーマ、授業仮説の設定が甘かったことである。授業観察の視点がぼやけ、事後研究で焦点がしぼれないままに協議が終わったことがあった。
- 累積的な研究 (D)
 

総合フィルターが研究協議の記録とともに残されることの意義は大きい。総合フィルターには、1時間の教師の働きかけと生徒の反応がつぶさに記録され、次回の授業研究の貴重な資料となっている。
- 授業観察の視点不明りょう (E)
 

6対2と意見がわかれたが、研究主題から、授業テーマを設定するまでの研究がやはり不十分であったと考えられる。

調査2 本年度の授業研究について、答えて下さい。

(A) 本年度のフィルター方式による授業分析研究は、

| 項目                                       | 人数 | 2                    | 4 | 6 |
|--|----|----------------------|---|---|
| ア 授業研究として、効果をあげたと思う。                     |    | ████████████████████ |   |   |
| イ 分析研究の方法が理解できず効果があったとは思えないが、継続すれば効果がある。 |    | ██████               |   |   |
| ウ 授業研究としては、全く効果がない。別な方法を考えるべきだ。          |    |                      |   |   |

(B) 本年度の3回の授業研究は

| 項目             | 人数 | 2                    | 4 | 6 |
|----------------|----|----------------------|---|---|
| ア 極めて参考になった。   |    | ████████████████████ |   |   |
| イ 参考になるところもあった |    | ██████               |   |   |
| ウ 少しも参考にならない。  |    |                      |   |   |